NEWS WEB EASY|絵本「ぐりとぐら」をかいた山脇百合子さんが亡くなる

www3.nhk.or.jp/news/easy/k10013850681000/k10013850681000.html



[10月7日 16時20分]

「ぐりとぐら」は、子どもたちに人気の絵本です。この絵本をかいた山脇百合子さんが せんげつ にち な 先月29日、亡くなりました。80歳でした。

やまわき こうこう ねんせい はじ あね なかがわり え こ 山脇さんは高校3年生のとき初めて、姉の中川李枝子さんがかいた「いやいやえん」といるかがわ う本の絵をかきました。それから絵本をかく仕事をするようになりました。中川さんといっしょ 一緒に「ぐりとぐら」や「そらいろのたね」など、多くの絵本や子どもたちのための本をかきました。

「ぐりとぐら」は野にいる双子のねずみや森の動物たちの話です。温かい絵でとても はまたる。 はまたいにようで、温かい絵でとても まんさついじょうで、いま まお こ 人気があります。1963年から今までに2000万冊以上出て、今も多くの子どもたちが読ん でいます。